

# 町田市ジュニアスポーツ指導者育成事業 実施報告書

## 【目次】

1. 実施概要	1-1.事業趣旨・目的	1
	1-2.事業内容	2
	1-3.実施工程表	4
	1-4.事業実施体制	5
	1-5.事業の効果および評価方法	6
2. 告知手法		7
3. 講習会内容		9
4. 検定試験結果		10
5. 参加者アンケート結果		11
6. 開催風景		14
7. 今後の展開		15

# 1. 実施概要

## 1-1. 事業趣旨・目的

来年度から推進していく、中学校の週末部活動における適切な指導者を育成する為、指導における必要な知識（スポーツが持つ教育的意義、安心安全な環境の提供、コーチング技術、トレーニング技術など）を桜美林大学（以下、本学とする）の施設を利用し、外部団体（公益財団法人日本スポーツ協会（以下、日本スポーツ協会））から派遣された講師及び本学教員が講座を担当し、指導者の育成事業を行う。

講義内容については、日本スポーツ協会公認指導者資格のジュニアスポーツ指導員に則り、全ての講義に出席し、検定試験に合格した参加者はライセンス（ジュニアスポーツ指導員資格）を取得することを可能とした。なお、日本スポーツ協会と話し合いの結果、全講義の一部である「共通科目Ⅰ（35時間）」については、配布したテキストを受講者各自で自習し、専門科目（24時間／23時間の講義・実技・実習＋1時間検定試験）を対面方式にて受講していただくこととした（日本スポーツ協会指導者資格概要.pdf/日本スポーツ協会指導者制度共通科目Ⅰ.pdf/ジュニア専門科目カリキュラム.pdfを参照）。なお10時間の講義及び1時間の検定試験においては、本学教員1名及び日本スポーツ協会派遣講師1名の計2名で各講座を担当し、13時間の実技・実習においては、日本スポーツ協会からの派遣講師4名に加え、特別強化クラブの指導者と学生がグループワーク等のアシスタントとして参加する予定であったが、参加者の人数を勘案して、講義においては日本スポーツ協会からの派遣講師1名または本学教員1名が担当し、実技と実習においては同じく日本スポーツ協会からの派遣講師2名に担当いただくこととした。また今後に向けて、本学健康福祉学群の教員1名～2名を常時見学させることで、次回以降の実施を派遣講師に頼ることなく、本学教員で実施できる下地を作る機会とした。

募集に関しては、町田市文化スポーツ振興部スポーツ振興課（以下、町田市スポーツ振興課とする）を通じ町田市教育委員会や町田市体育協会に所属する団体へ告知の依頼を行ったが、募集期間を考慮し、町田市のホームページ及び公式Twitterでの告知を行うと同時に、本学ホームページ、本学学生向けイントラネットワークや授業内での教員からの告知を行うことで学生への周知を図った。

講習終了後には町田市スポーツ振興課へ実施内容の報告を行うと共に、将来的に町田市の公認ライセンス制度へと発展させ、町田市内の中学校を含めたジュニアスポーツの現場はもとより、生涯スポーツやレクリエーションスポーツの現場へ、ライセンスを所有する指導者を派遣できるような、人材バンクへ発展させるよう継続的なコミュニケーションを約束した。

# 1. 実施概要

## 1-2. 事業内容

### 【現状の課題】

町田市が実施した「2021年度スポーツに関する市民意識調査アンケート結果」の問14「あなたは、この1年間に、スポーツに関する指導や協力、スポーツ大会の運営などスポーツに関するボランティア活動を行ったことはありますか?」をみると、「ある」と答えた割合はわずか3.3%で、この中で「指導・コーチ・審判」として関わった人が38.5%であった。この結果から推測できることは、現在の町田市において、指導者数が絶対的に少ないことである。中学校の部活動が、来年から3年間のうちに週末は地域や民間に委ねることを踏まえると、指導者の確保、指導の質の担保が課題になることが予想される。

※参照：【桜美林大学】町田市ジュニアスポーツ指導者育成事業\_町田市市民意識調査アンケート結果.pdf

### 【自治体及び地域の組織・団体と連携・協力体制】

これまで桜美林大学は、毎年近隣の子どもたちを招いてスポーツフェスタを開催している。この催しはコロナ禍においても安全を配慮して開催に至った。スポーツフェスタは町田市文化スポーツ振興課に協力頂き、広報している。また2019年の開催は「まちだ〇ごと大作戦18-20」（町田市政策経営部広報課）にも参画したイベントにもなっている。このスポーツフェスタにおける協賛は、2021年はコロナ禍にも関わらず17社からご支援を頂いた。

本学健康福祉学群 宮崎光次教授は、町田市スポーツ推進審議会委員を任命されており、町田市のスポーツの発展、健康増進に尽力している。とくに町田市スポーツ推進計画19-28アクションプラン（2019～2023年度）での貢献は大きく、次期アクションプランの策定にも関わっている。

今回の公募について町田市スポーツ振興課と協議をしており、今後も継続していく予定であり、当事業が継続的に発展していく際には、町田市内の学校だけでなく、少年・少女スポーツや生涯スポーツ組織にも指導者を派遣することが出来るよう人材バンクの設置構想を検討する。

# 1. 実施概要

## 1-2. 事業内容

### 【事業実施方法】

本事業における講習会は、本学スポーツ推進センター、スポーツに関わる教員に加えて本学体育会、特に特別強化クラブの学生や指導者の協力を得る。とくに学生については、事業の運営だけでなく希望すれば講習会を受講する。あらゆる側面から、全学的な取り組みにする。

講習は、日本スポーツ協会公認指導者資格のジュニアスポーツ指導員に則り、講義及び実技を展開する。

全ての講義に出席し検定に合格した参加者は日本スポーツ協会公認ジュニアスポーツ指導者ライセンスを取得することが可能となる。

※本事業は継続的な開催を目指しており、日本スポーツ協会の公認指導者となった受講者講習を一元管理し、指導者の人材バンク（仮称）の創設を目指し、中学校部活動の外部指導者や地域のスポーツ指導者として活動の場を提供する。

### 【事業実績】

本学では過去10年間に渡り「桜美林大学スポーツフェスタ」と称し、近隣（町田市や相模原市）の幼児及び小学生を学内のスポーツ施設に招待し、様々なスポーツを体験するイベントを開催してきた。過去2年間はコロナ禍であるためオンラインでの開催となったが、コロナ前は毎年300名以上の子供たちに参加いただいていた。（参加費無料）

※参照：【桜美林大学】町田市ジュニアスポーツ指導者育成事業\_スポーツフェスタ事例.pdf

# 1. 実施概要

## 1-3. 実施工程表

実施時期	計画事項
	町田市におけるジュニアスポーツ指導者育成事業
2022年 8月	<ul style="list-style-type: none"><li>町田市スポーツ振興課と協議 (募集及び実施内容、将来の人材バンク構想について)</li><li>日本スポーツ協会と講習の枠組みについて協議・調整</li></ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"><li>町田市スポーツ振興課／町田市教育委員会／町田市体育協会と募集方式及び募集スケジュールの協議を実施</li><li>日本スポーツ協会と講習及び検定試験実施方法について協議・調整</li></ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"><li>募集開始（～11月4日締め切り）</li><li>参加者へのテキスト及び詳細事項送付</li><li>共通科目Ⅰについては、受講者が配布されたテキストを自身で学習し検定試験を受験することで調整</li></ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"><li>講習会Ⅰ 11月5日（土）講義 (講習会Ⅰについては11月19日土曜日にオンラインでの受講も可とした)</li><li>講習会Ⅱ 11月20日（日）講義</li></ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"><li>講習会Ⅲ 12月4日（日）実技</li><li>講習会Ⅳ 12月17日（土）実習／検定試験</li><li>講習会Ⅴ 12月18日（日）実習</li></ul>
2023年 1月	<ul style="list-style-type: none"><li>終了後アンケート</li><li>報告書作成</li><li>人材バンク設立に向けた町田市スポーツ振興課との打合せ</li></ul>

# 1. 実施概要

## 1-4. 事業実施体制

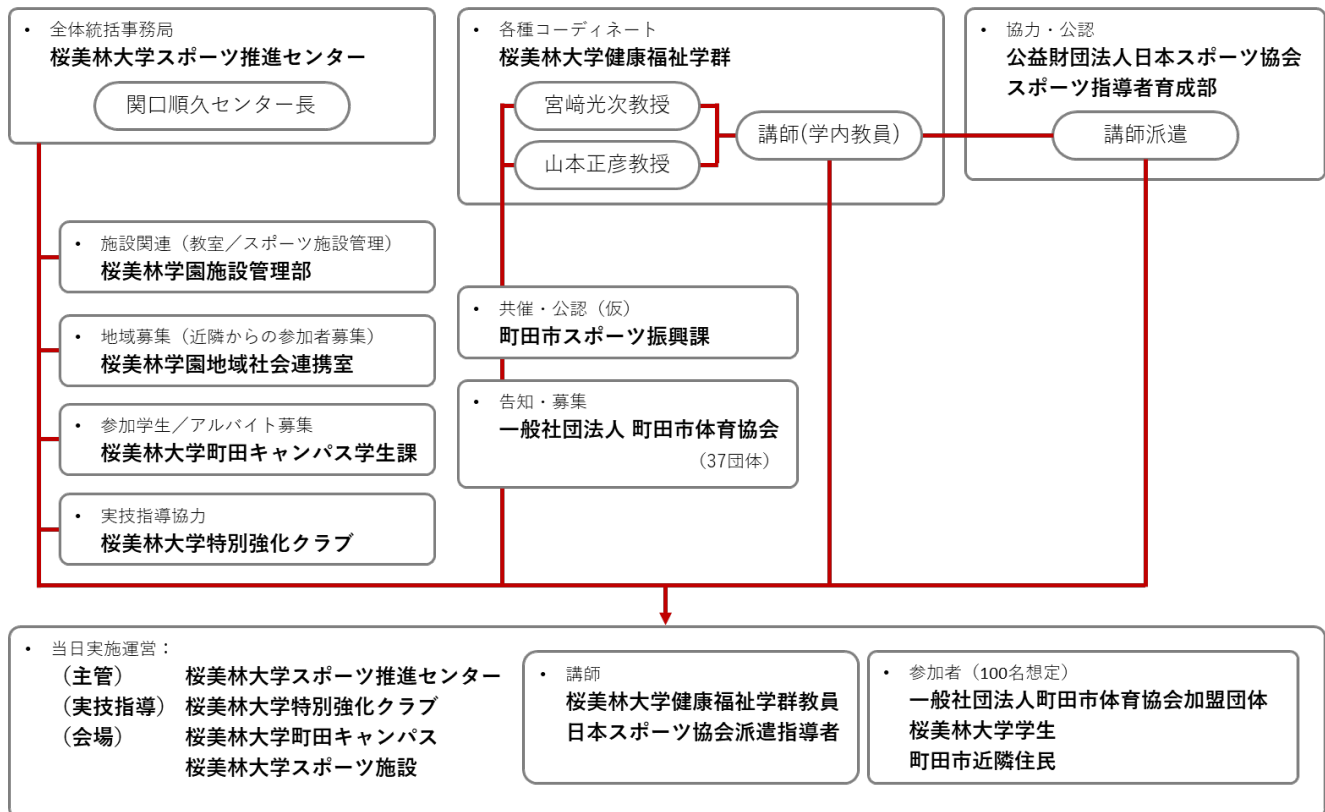
当事業は本学の特別強化クラブをサポートする部署であるスポーツ推進センター（関口順久センター長）を統括事務局として推進する。行われる講座の企画・コーディネートは、本学健康福祉学群 山本正彦教授が行い、町田市との連携は、本学健康福祉学群 宮崎光次教授が担当する。

前述にもある通り、募集については町田市を通じて町田市体育協会に所属する団体へ告知予定であるほか、本学を通じて、学生や大学近隣の住民へ告知する。桜美林大学内の施設利用や体育会クラブの協力依頼については、スポーツ推進センターがコーディネートし、学生や体育会指導者の協力を得ながら、安全を優先して実技指導を行う。

行政（町田市）には、ホームページなど各種広報媒体を利用したの市民への告知や体育協会を通じて関連するスポーツ団体等への告知を依頼する。また講座修了後、修了者がいるスポーツクラブを行政が持つホームページで情報を市民に提供する予定である。

□ 町田市におけるジュニアスポーツ指導者育成事業実施体制

2022.8.22



# 1. 実施概要

## 1-5. 事業の効果および評価方法

### 【事業の効果】

本事業の対象者は、小学生から中学生を指導している既存の指導者及び将来指導者の候補となる学生や近隣住民である。講習会では、科学的根拠に基づいた理論を学ぶだけでなく、ストレッチングやウォーミングアップ、体力を向上させ巧緻性を高めるトレーニングなど、具体的でスポーツ現場に役立つ実技も経験することになる。

この事業は、中学校の部活動が地域に移管したことを想定した指導者育成の側面を持つ。そのため、講習会受講者を中心に地域スポーツの指導者の把握につながり、指導者が不足するクラブには指導者を流用させることが可能となる。

### 【評価方法】

現在町田市には20の市立中学校が存在し、各校で8～13のスポーツ系部活動が行われている。総数としては200程度のスポーツ系部活動が存在すると認識しており、本事業において100名程度の参加者、その半数の50名が全ての講義を受講した後、検定に合格し、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者ジュニアスポーツ指導者資格を取得し、将来的にこれらの資格を取得した参加者が人材バンクに登録いただくことを目標として設定する。

また町田市では「市民意識調査アンケート」を継続的に実施しており、このアンケート調査は、地域におけるスポーツを市民の目線で評価できるものである。本事業を継続していく中で、この調査結果を評価対象にしていくことも視野に入れていく。

その一方で、講習会後は現在指導するクラブがある指導者に対して指導技術の進歩、指導者としての醸成、講習会の満足度などをアンケートにより独自調査を行う。今後スポーツ指導を希望する者については、指導者着任後の追跡調査を継続する。

# 2. 告知手法

## 【チラシ（電子版）】

主催 桜美林大学  
・大学スポーツ協会 (UNIVAS) 委託事業

### 町田市ジュニアスポーツ指導員 育成集中講座

ジュニア世代を指導するために  
必要な知識が網羅出来ます！

**参加資格**  
・20歳以上、現在ジュニアスポーツの指導をされている方、  
将来指導を志す方

★ 現在指導されている方の…  
✓ 指導上のお悩みを解決！  
✓ 本当に何が正しいの？  
✓ 子どもにとって何が大事なの？

★ 将来指導者を志す方の…  
✓ 知っておきたい知識とは？  
✓ 安心・安全な環境って？  
✓ 良い指導者になれる方法は？

〈参加料〉  
・無料

〈定員〉  
・100名

〈開催日〉  
・11月5日(土) 13時～18時10分  
(11月6日開演分は11月19日にオンラインでの受講が可能です)  
・11月20日(日) 13時～18時20分  
・12月4日(日) 13時～18時  
・12月17日(土) 13時～17時30分  
・12月18日(日) 13時～18時

〈会場〉  
・桜美林大学町田キャンパス

〈お問合せ〉  
・sports@obirin.ac.jp

日本スポーツ協会  
「ジュニアスポーツ指導員資格」が取得できます！  
(詳細は裏面をご確認ください)

〈開催日程表〉

11月5日(土) 第11月5日(土)の講座については、11月19日(土)にオンラインでの受講が可能です。	・ 稽古 (13:00～15:00)	・ コーチング (15:05～17:05)	・ 動きの発達 (17:10～18:10)		
11月20日(日)	・ 心算 (13:00～14:00)	・ スポーツ医学 (14:05～15:05)	・ 栄養 (15:10～16:10)	・ 体力 (16:15～17:15)	・ 女性とスポーツ (17:20～18:20)
12月4日(日)	・ 実技 (13:00～18:00)				
12月17日(土)	・ 実技 (13:00～16:00)	・ 試験(ジュニアスポーツ検定) (16:05～17:30)	・ 試験(実技検定1) (17:45～18:45)		
12月18日(日)	・ 実技 (13:00～18:00)				

※12月4日(日)、12月17日(土)、12月18日(日)は体育館にて実施されるため上履きをお持ちください。

※全ての講座を受講され認定試験に合格すると日本スポーツ協会「ジュニアスポーツ指導員資格」を取得できます。  
(認定試験料及び登録費用はご自身でご負担ください)  
※資格取得のためには、上記の他に「共通科目1」をオンラインで受講する必要があります。

〈お申込〉  
1. 下記サイトへアクセスいただき必要事項をご記入ください。  
<https://docs.google.com/forms/d/1xspw78tH5qW2w6GMpARqfTHZxMDcGosh-eiZsZks/edit>  
・右のQRコードからもアクセスできます。  
2. 事務局よりメールにて会場案内が送付されます。  
3. チキストは初回講座時にお渡しします。

〈会場〉  
・桜美林大学町田キャンパス 以徳館CT201教室

〈アクセス〉

〈お問合せ〉  
・sports@obirin.ac.jp

・キャンパスマップ

## 【桜美林大学HP（10月27日公開）】

桜美林大学HP (https://www.obirin.ac.jp/event/year\_2022/r11i8i000009le0d.html)





# 2. 告知手法

## 【町田市HP（11月4日公開）】



町田市HP ([https://www.city.machida.tokyo.jp/bunka/sport/event\\_kyoshitu/obirin\\_kouza.html](https://www.city.machida.tokyo.jp/bunka/sport/event_kyoshitu/obirin_kouza.html))  
※現在ページは削除されています

## 【町田市公式Twitter（11月4日公開）】



町田市公式Twitter  
([https://twitter.com/machida\\_olypara/status/1588456015288094721?s=20&t=BxvL9Go1b3dWrXmKWIQlma](https://twitter.com/machida_olypara/status/1588456015288094721?s=20&t=BxvL9Go1b3dWrXmKWIQlma))



# 3. 講習会内容

## 【日程】

日程	講習会Ⅰ	講習会Ⅱ	講習会Ⅲ	講習会Ⅳ	講習会Ⅴ
	11月5日（土）	11月20日（日）	12月4日（日）	12月17日（土）	12月18日（日）
1	概論 (2h)	心理 (1h)	実技 (5h)	実習 (3h)	実習 (5h)
2		スポーツ医学 (1h)			
3	栄養 (1h)	検定試験 〔ジュニアスポーツ〕 専門科目 (1h)			
4	体力 (1h)				
5	動きの発達 (1h)	女性とスポーツ (1h)		検定試験 〔共通科目Ⅰ〕 (1h)	

## 【講師】

概論	窪 康之	(国立スポーツ科学センター)
コーチング	窪 康之	(国立スポーツ科学センター)
動きの発達	佐々木 玲子	(慶應義塾大学)
体力	内藤 久士	(順天堂大学)
栄養	田口 素子	(早稲田大学)
スポーツ医学	鎌田 浩史	(筑波大学)
女性とスポーツ	町田 修一	(順天堂大学)
心理	武田 一	(桜美林大学)
実技	青野 博	(公益法人 日本スポーツ協会)
	吉田 繁敬	(アイ・プラス株式会社)
実習	青野 博	(公益法人 日本スポーツ協会)
	窪 康之	(国立スポーツ科学センター)
立会い／見学	宮崎 光次	(桜美林大学)
	山本 正彦	(桜美林大学)



## 4. 検定試験結果

### 【検定試験結果】

	共通科目 I	ジュニアスポーツ専門科目
受検者数	8	17
合格者数	8	16
受検者平均点	38.5	30.6

※ 「共通科目 I」と「ジュニアスポーツ専門科目」の受検者数が異なる理由について

桜美林大学健康福祉学群は、日本スポーツ協会の認定校となっており、指定の授業を履修することで、日本スポーツ協会が定める共通科目 I 及び II を卒業時に取得することが可能。よって、今回多くの学生はジュニアスポーツ指導員の専門科目のみを受験している。一般受講者及び3年生以上で、4年時に指定の授業を履修することが難しい学生については、今回共通科目 I の検定試験を受験。また、一般受講者でも1名、既に共通科目 I 取得者がいたため、専門科目のみを受験している。

# 5. 参加者アンケート結果

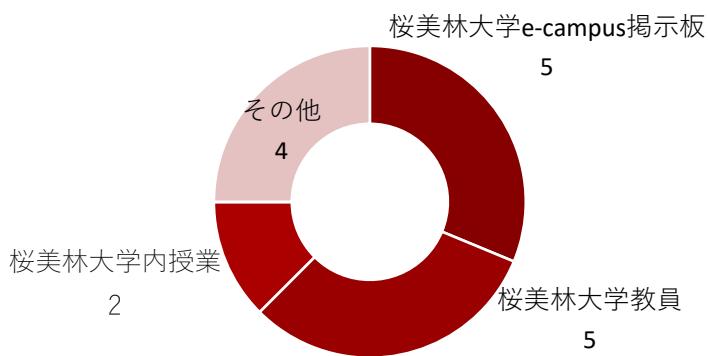
## 【概要】

調査方法	講習会終了後に、参加者にアンケート回答を依頼(Googleフォーム)
回答数	16

## 【結果】

①当講習の情報をどちらから得ましたか？

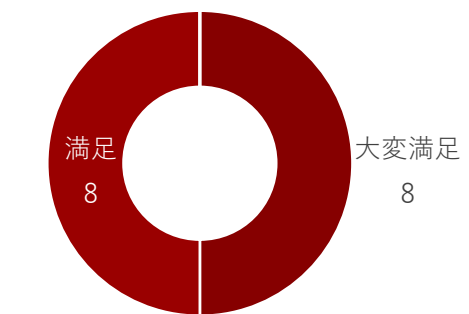
(単一選択式/回答数：16)



町田市HP	0	「その他」回答内訳	
町田市SNS	0	町田市ソフトテニス連盟	1
チラシ	0	町田市トランポリン協会	2
桜美林大学HP	0	部活動の紹介	1

②当講習の満足度を教えてください。

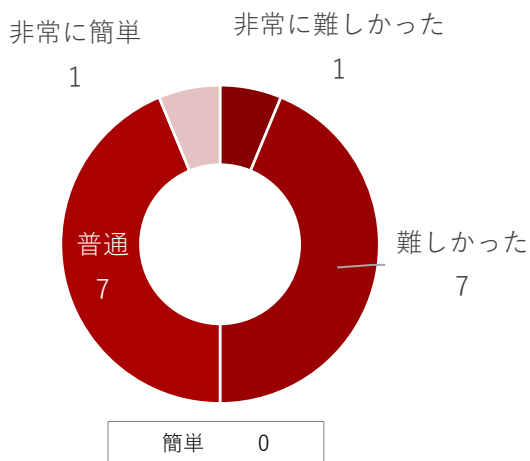
(単一選択式/回答数：16)



どちらとも言えない	0
不満足	0
大変不満足	0

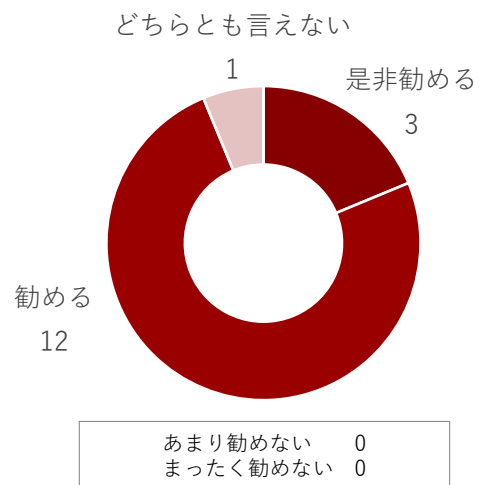
③当講習の難易度について教えてください。

(単一選択式/回答数：16)



④次年度以降も当講習が開催された場合、他の人にも勧めますか？

(単一選択式/回答数：16)



## 5. 参加者アンケート結果

### 【結果】

⑤当講習のタイムスケジュールについてより参加しやすいと考えるスケジュールがございましたら教えてください。（総時間は変更できません。例：全日3日間や4時間×6日間など）

（記述式／回答数：11）

- 全日三日
- 全日4日間
- 4時間×6日間
- 4時間×6日間の方が、実技や実習の際に楽なのかなと思う
- 3時間×7日間
- 毎週にしてほしい
- このままでいいと思います。
- 特になし（4件）

⑥当講習を地域の方に知っていただく良い方法があればお教えてください。

（記述式／回答数：12）

- インスタ
- チラシの掲示
- チラシやWEBサイト
- チラシを配る
- チラシ等の掲示
- ポスターなど
- 各自治会の回覧板で回してもらう。
- 広報まちだなどに掲載する
- 小学校や中学校のチラシとして配布。スポーツ指導してる保護者が結構いると思うので
- 地域の広報と連携
- 地域放送を使う
- 特にない

⑦当講習で最も興味深いと感じた授業もしくは実技、実習を教えてください。

（記述式／回答数：14）

- ジュニア期の怪我についての講習が印象に残った。
- ネコとネズミは、大学生の私たちでも頭を使って考えなければいけない実技だったため、かなり苦戦しました。その代わり、しっかり行うことが出来ればとても面白い実技になると感じました。
- 座学の心理
- 実技と実習全般はとても興味深かった。自分の知らない指導法や同じ受講生の指導を受けることが出来てとても良い経験をできた。
- 実技の講義 実際に遊びを行うのは興味深かった。
- 実技全般
- 実際に遊びを体験してみる実技が、生徒の立場になって考えられたのでよかった
- 実習が勉強になりました。
- 身体を動かした実習
- 先生方の言葉や説明はとても興味深かったです。
- 体育館で行った実技は話の聞かせ方や説明の仕方などを学ぶことができ楽しかったです
- 模擬指導
- 模擬指導の実践
- 遊びのやつ

## 5. 参加者アンケート結果

### 【結果】

⑧当講習で得た知識や知見を、今後どのようなエリアで生かす予定ですか？ (記述式/回答数：14)

- イベント開催の時に生かしたいと思います。
- エリアは未定だが、体育教師を目指しているので中学生、高校生を対象に知識や知見を活かしていくことになると思う。
- ジュニアスポーツ教室や学校
- スポーツ指導者として
- 学校現場
- 現在、指導者をしているので学生たちに伝え、活かせていけたらと思います。
- 子どもを対象とした活動を行える現場（小学校の体育の授業やスポーツクラブなど）
- 市内ジュニアソフトテニスの合同練習等
- 自分の所属してるチーム
- 実際の教育現場などで活かしたい。
- 将来の教職の場
- 将来や今働いているフィットネスジム
- 地元の小学校で活動しているバレーボールクラブで使いたいと考えます。
- 遊具を作る仕事につきたいのでその時の着眼点に活かしたいです

⑨当講習について感じたこと、思ったこと、お気づきになったことなどございましたらご自由に記載ください。 (記述式/回答数：11)

- ありがとうございました
- とても親切に指導していただきまして、ありがとうございました。
- とても有意義な時間を過ごさせて頂きました。ありがとうございます。
- とても良い経験、体験になりました。ありがとうございました。
- 一日に受ける時間が長かった
- 今回の講習でジュニアスポーツのノウハウについて学ぶことができたのはいい経験だと思った。
- 実技は大変だったけど夢中になって楽しく受けていました。子供の頃はこれくらい動いていたように思いますが今の子どもたちはここまで動いているのかなと改めて感じました。
- 実際に指導案を作り、フィードバックを貰えるというのがとても貴重で重要なきかいだとかんじた。
- 受講して良かったと思います。一般の参加がもう少し多ければ良かったと思います。また、今後資格更新のための更新講習を実施して頂ければ幸いです。
- 模擬指導後の生徒役の方や講師の方からのフィードバックが今後の指導のために役立つだろうと感じられて良いと思いました。
- 特にないです。

※記述式回答の表記は原文ママ記載

## 6. 開催風景



## 7. 今後の展開

本事業は、地域におけるスポーツ指導者の養成を目指したものである。とくにジュニア期のスポーツにおいて、指導者の質の担保や人材確保が課題であり、日本スポーツ協会の助言を受けながら「ジュニアスポーツ指導員」の講習会を開催するに至った。

事業企画にあたり我々は、大学内にとどまらず町田市スポーツ振興課、町田市教育委員会、町田市体育協会とも協議を重ねた。とくに事業の広報についてご協力を頂いている。また協議の中では、昨年から報道されている「中学校部活動の地域移行」の課題と本事業の趣旨が共通していることに認識を共にした。

こうした背景から今回、ジュニア期のスポーツ指導者について、育成を含めた研修の機会を提供することが重要であった。本事業の特徴の一つは、大学資源（教職員や会場等）を活用しながら行政と協力して講習会を開催したことである。こうした形態の講習会であれば、各地域に存在する大学を中心に講習会を展開することが可能ではないだろうか。

またスポーツ指導者の存在について、その情報を得ることも大事である。講習会の発展として、指導者情報の集約が必要と考える。どのような機関や団体、協会が担うのか、その議論を含めて指導者情報を集約するシステムを構築する必要がある。本事業においても、地域スポーツの一課題として考えていきたい。

なお、町田市関連部署との協議と、協力いただいた内容の具体は以下の通りである。

### 【町田市スポーツ振興課との会合 @町田市庁舎】

- ・第1回：2022年6月15日（水） 16：00～17：00
- ・第2回：2022年7月11日（月） 16：00～17：00
- ・第3回：2022年8月3日（水） 13：30～14：30
- ・第4回：2022年9月6日（火） 10：30～12：00
- ・第5回：2022年10月3日（月） 13：00～14：00 ※町田市教育委員会との合同
- ・第6回：2023年1月4日（水） 14：00～15：00

合計6回の会合を持った。また、メールを利用し随時情報交換を行った。

その結果、講習会開催の広報について以下の通り協力をいただいた。

#### ① 町田市ホームページを利用したの広報

- ・件名：桜美林大学 講習会「ジュニアスポーツ指導員育成集中講座」
- ・公開期間：2022年11月4日（金）から11月18日（金）※現在ページは削除されています
- ・URL：[https://www.city.machida.tokyo.jp/bunka/sport/event\\_kyoshitu/obirin\\_kouza.html](https://www.city.machida.tokyo.jp/bunka/sport/event_kyoshitu/obirin_kouza.html)

#### ② 町田市スポーツ推進課twitterアカウントを利用したの情報発信

- ・アカウント情報：町田市スポーツ情報【公式】 @machida\_olypara

### 【町田市体育協会との会合】

- ・2022年9月27日（火）14：00～15：00 @町田市体育協会事務局  
会長、理事長らと会合も持ち、講習会の内容について説明、実施について加盟団体への周知を依頼した。

### 【町田市教育委員会との会合】

- ・2022年10月3日（月）13：00～14：00 @町田市庁舎 ※町田市文化スポーツ振興部スポーツ振興課との合同  
学校教育部指導課の方と会合を持ち、講習会内容について説明、実施について教員の方への周知の可能性について話し合った。